ハイデラバード外環道路建設計画(フェーズ2)【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課 評価年月日 平成 31 年 4 月

1 案件概要	
(1)供与国名	インド
 (2)案件名	ハイデラバード外環道路建設計画(フェーズ2)
(3)目的・事業内容 *閣議決定日,供与条件など を含む	インド南部アンドラ・プラデシュ州(当時)(注)のハイデラバード都市圏において、外環自動車専用道路の北東部区間及び周辺道路を建設することにより、増加する道路交通需要への対応を図り、もって市中心部における交通渋滞の緩和及び地域経済の発展に寄与するもの。 (注)案件形成後にアンドラ・プラデシュ州は2つの州に分割され、案件実施地は、現在、テランガナ州に属している。
	案件の内容 ・道路建設(自動車専用道路, サービス道路, インターチェンジ, 料金所, 高度道路交通システム) ・社会開発 ・コンサルティングサービス ア 閣議決定日: 平成20年10月21日 イ 供与限度額: 420.27億円 ウ 金利: 1.2% (コンサルティングサービスについては, 0.01%) エ 償還(据置)期間:30(10)年
	→ 損退(掂直)期间:30(10)年 オ 調達条件:一般アンタイド
2 事業の評価	
(1)経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、州都ハイデラバードでは、道路交通需要の増加に伴う交通渋滞が重大な問題となっており、大気汚染・騒音等の自動車公害及び経済損失が深刻化していたため、交通渋滞の緩和を通じて地域経済の発展、都市環境の改善を図るために、体系的な道路網を整備することが喫緊の課題となっていた。本事業の案件形成時点に作成された報告書によれば、本事業対象外環道路の区別予想交通量(1時間当たりの乗用車換算台数(PCU/hr))として、区間7(Shamirpet-Keesara間)では2,450(2006年)から8,160(2026年)、区間8(Keesara-Ghatkesar間)では3,761(2006年)から12,359(2026年)区間9(Ghatkesar-Amberpet間)では4,126(2006年)から13,602(2026年)と増加が見込まれていた。現在は、外環道路の一部を形成する主要幹線(区間7-9)は、土木工事及び料金収集システム(TMS)の導入が完了し、既に運用が開始されている。区別予想交通量(PCU/hr)は当初の見込みどおり増加傾向にあり、体系的な道路網を整備する必要性が引き続き見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。
	イ 事業遅延に関する経緯・現状 用地取得の遅延等により、事業が遅延していたが、遅延に係る問題 は解決し、現在事業は順調に進められている。交通管制システムを含

めた本事業の主要部分の整備は2019年内に完了する見込み。

(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり,事業完成後は当初予定
	どおりの効果が見込まれており,事業の進捗を妨げていた要因は解決
	していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程にお	• 交換公文
いて使用した資料等	・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要
	(https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html)
	・国際協力機構の案件検索
	(https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php)
	・国際協力機構の事業事前評価表
	(https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html)
	・そのほか国際協力機構から提出された資料